

## 第5章 男女共同参画社会に関する市民意識調査

### I 香美市男女共同参画社会に関する市民意識調査



調査名称	香美市男女共同参画社会に関する市民意識調査
調査対象	18歳以上の市民 2,000人
対象者抽出方法	層化二段無作為抽出法 (総人口比から山田・香北・物部のサンプル数を割り当て 住民基本台帳名簿より抽出)
調査方法	郵送で配布 郵送回収、インターネット回答の併用
調査期間	令和7年1月10日～1月31日
調査機関	香美市立ふれあい交流センター
実回収数	580
有効回収率	29%

#### 1.調査の目的

香美市では、性別にかかりなく、個性と能力を活かし、一人ひとりが自分らしくいきいきと暮らせるような社会づくりを基本理念とし、「男女共同参画社会」の実現を目指して、様々な取組を進めています。

本調査は、市民の皆様の男女共同参画に関する実態や意見等を調査し、「香美市男女共同参画計画」の改定や今後の施策推進の基礎資料とする目的としています。

#### 2.調査の項目

##### (1) 男女共同参画に関する意識について

問1 各分野における男女の地位の平等意識

##### (2) 家庭生活について

問2 家庭生活における男女の役割分担の理想と現実

問3 男性が女性とともに、家事、子育て、介護、地域での活動に積極的に参加していくために必要なこと

##### (3) 男女がともに働きやすい職場づくりについて

問4 仕事とプライベートの優先度の理想と現実

問5 男女がともに働きやすくなり、活躍するために企業など職場や行政の取組において必要なこと

##### (4) 社会生活を営む上での困難な問題について

問6 配偶者・恋人などからの行為についての暴力としての認識・DV経験（加害・被害・見聞き）の有無

問6 副問 DV 経験（加害・被害）の相談相手

(5) 男女共同参画の推進について

問7 男女共同参画社会を形成していくために、今後力を入れていくべきこと

### 3.調査結果の見方

- 回答結果の割合「%」は有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「N (Number of Case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 前回調査と同様の調査項目については、前回調査（5年前調査）の結果と比較しています。

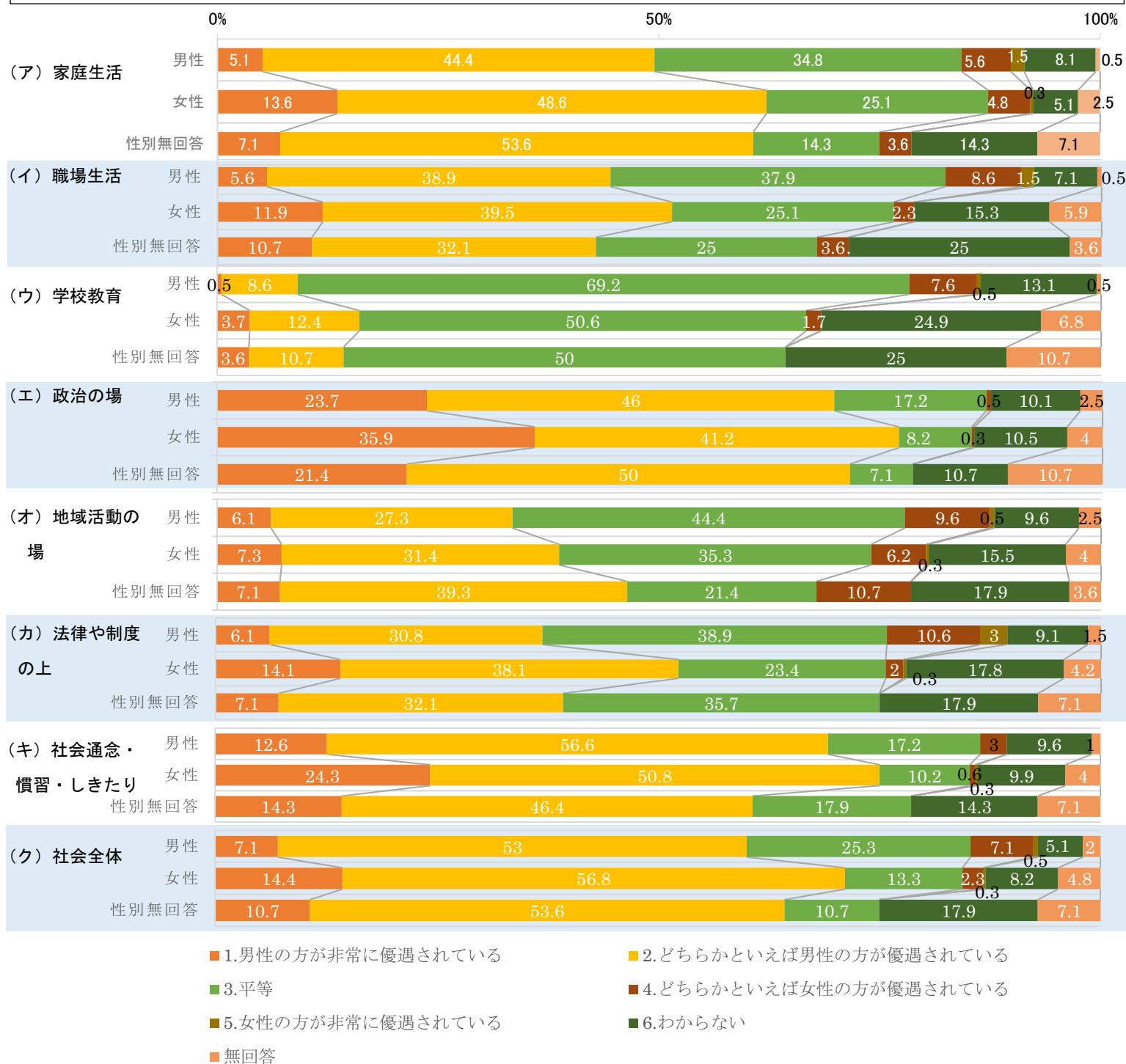
# 香美市男女共同参画社会に関する市民意識調査結果

2025年1月実施。

有効回答者数580人（男性198人・女性354人・性別無回答28人）回収率29%

（注：回答率は少数第2位を四捨五入し表示しているため、合計が100%にならない場合があります。）

問1 次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。 N=580 選択数:1

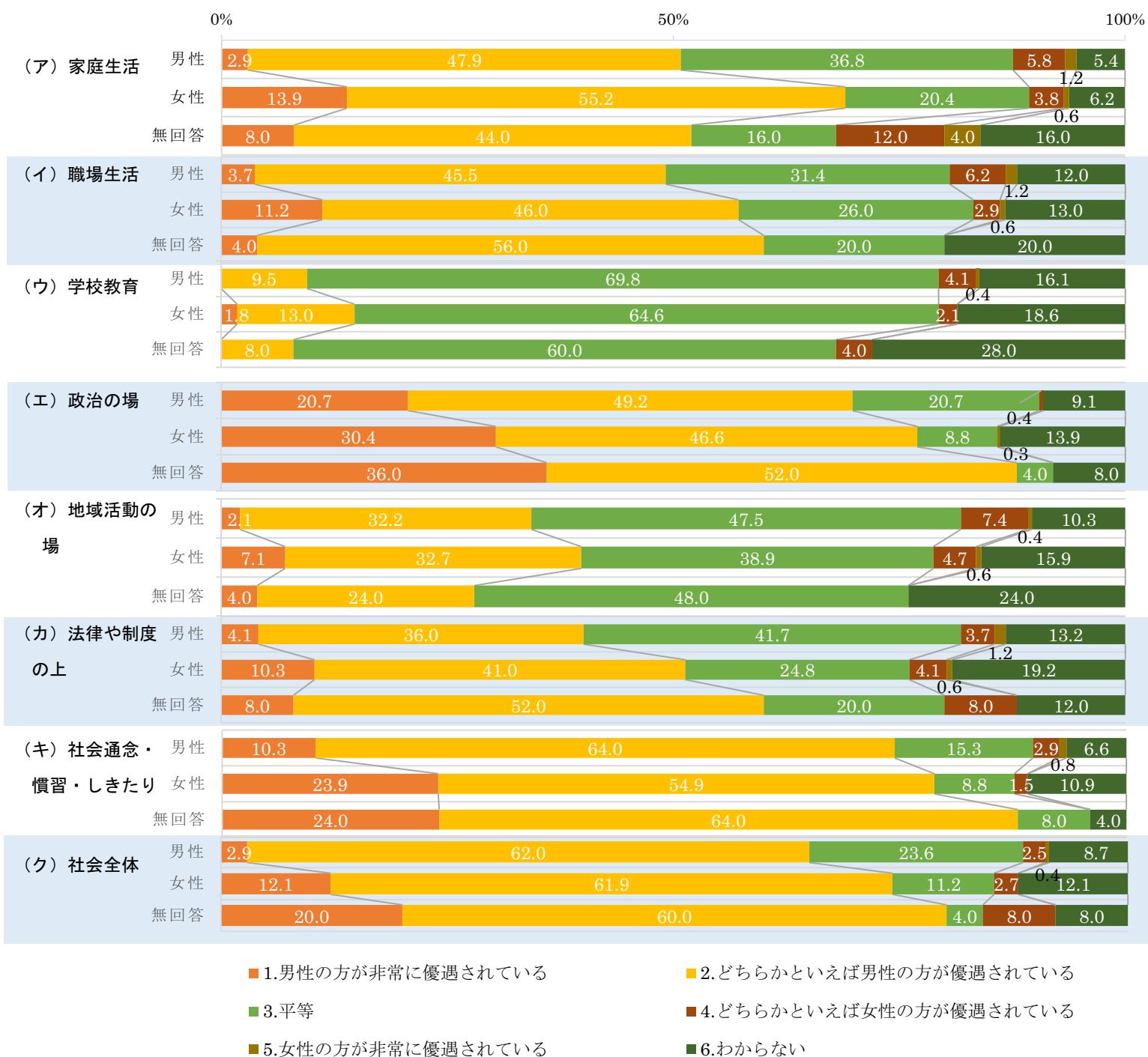


- 1.男性の方が非常に優遇されている
- 2.どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 3.平等
- 4.どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 5.女性の方が非常に優遇されている
- 6.わからない
- 無回答

実生活における各分野での男女平等に関する意識について尋ねたところ、「平等」の割合が高いのは、男性では「学校教育」(69.2%)、「地域活動の場」(44.4%)、「法律や制度の上」(38.9%) の順となっている。女性では「学校教育」(50.6%)、「地域活動の場」(35.3%)、「家庭生活」(25.1%)、「職場生活」(25.1%) の順となっており、性別無回答では「学校教育」(50%)、「法律や制度の上」(35.7%)、「職場生活」(25%) の順となっている。全ての性別においても、「平等」の割合が高いのは「学校教育」となった。

## ●前回調査（5年前）の香美市男女共同参画社会に関する市民意識調査結果（N=606）

前回調査においては、実生活における各分野での男女平等に関する意識について「平等」の割合が高いのは、男性では「学校教育」(69.8%)、「地域活動の場」(47.5%)、「法律や制度の上」(41.7%) の順となっている。女性では「学校教育」(64.6%)、「地域活動の場」(38.9%)、「職場生活」(26%) の順となっており、性別無回答では「学校教育」(60%)、「地域活動の場」(48%)、「職場生活」(20%)、「法律や制度の上」(20%) の順となっている。



## (ア) 家庭生活

		て いる	男 性の 方 が 非 常 に 優 遇 さ れ	ど ち ら か と い え ば 男 性 の 方	が 優 遇 さ れ て い る	平 等	ど ち ら か と い え ば 女 性 の 方	が 優 遇 さ れ て い る	女 性 の 方 が 非 常 に 優 遇 さ れ	わ か ら な い	無 回 答
単位：%											
全体 (n=580)		10.3	47.4	27.9	5	0.7	6.6	2.1			
年 齢 別	10 歳代 (n=12)	0	58.3	16.7	8.3	8.3	8.3	0			
	20 歳代 (n=35)	0	22.9	48.6	8.6	0	20	0			
	30 歳代 (n=42)	14.3	42.9	28.6	7.1	0	7.1	0			
	40 歳代 (n=60)	6.7	48.3	33.3	5	0	6.7	0			
	50 歳代 (n=78)	12.8	41	28.2	6.4	2.6	5.1	3.8			
	60 歳代 (n=119)	7.6	55.5	28.6	3.4	0	4.2	0.8			
	70 歳以上 (n=207)	13.5	49.8	24.6	4.3	0.5	4.8	2.4			
	年齢無回答 (n=27)	11.1	44.4	14.8	3.7	0	14.8	11.1			
男女 別	男性 (n=198)	5.1	44.4	34.8	5.6	1.5	8.1	0.5			
	女性 (n=354)	13.6	48.6	25.1	4.8	0.3	5.1	2.5			
	性別無回答 (n=28)	7.1	53.6	14.3	3.6	0	14.3	7.1			

## (イ) 職場生活

		て いる	男 性の 方 が 非 常 に 優 遇 さ れ	ど ち ら か と い え ば 男 性 の 方	が 優 遇 さ れ て い る	平 等	ど ち ら か と い え ば 女 性 の 方	が 優 遇 さ れ て い る	女 性 の 方 が 非 常 に 優 遇 さ れ	わ か ら な い	無 回 答
単位：%											
全体 (n=580)		9.7	39	29.5	4.5	0.5	12.9	4			
年 齢 別	10 歳代 (n=12)	0	41.7	16.7	16.7	0	25	0			
	20 歳代 (n=35)	2.9	20	51.4	2.9	0	22.9	0			
	30 歳代 (n=42)	9.5	35.7	40.5	4.8	0	9.5	0			
	40 歳代 (n=60)	11.7	45	35	5	0	3.3	0			
	50 歳代 (n=78)	14.1	33.3	28.2	11.5	2.6	1.3	9			
	60 歳代 (n=119)	6.7	43.7	35.3	4.2	0.8	9.2	0			
	70 歳以上 (n=207)	10.6	41.5	20.8	1.4	0	18.4	7.2			
	年齢無回答 (n=27)	11.1	29.6	22.2	3.7	0	29.6	3.7			
男女 別	男性 (n=198)	5.6	38.9	37.9	8.6	1.5	7.1	0.5			
	女性 (n=354)	11.9	39.5	25.1	2.3	0	15.3	5.9			
	性別無回答 (n=28)	10.7	32.1	25	3.6	0	25	3.6			

## (ウ) 学校教育

		て いる 男性の方 が非常 に優遇さ れ	が 優遇さ れて いる どち らか とい え ば男 性の 方	平 等	が 優遇さ れて いる どち らか とい え ば女 性の 方	て いる 女性の方 が非常 に優遇さ れ	わ から ない	無 回答
単位：%								
全体 (n=580)		2.6	11	56.9	3.6	0.2	20.9	4.8
年 齢 別	10 歳代 (n=12)	0	8.3	58.3	16.7	0	16.7	0
	20 歳代 (n=35)	0	14.3	57.1	8.6	0	20	0
	30 歳代 (n=42)	2.4	19	64.3	7.1	0	7.1	0
	40 歳代 (n=60)	3.3	6.7	66.7	6.7	0	16.7	0
	50 歳代 (n=78)	3.8	14.1	52.6	3.8	0	20.5	5.1
	60 歳代 (n=119)	4.2	9.2	65.5	1.7	0	16.8	2.5
	70 歳以上 (n=207)	1.4	10.1	50.7	1.9	0.5	26.6	8.7
	年齢無回答 (n=27)	3.7	11.1	44.4	0	0	29.6	11.1
男女 別	男性 (n=198)	0.5	8.6	69.2	7.6	0.5	13.1	0.5
	女性 (n=354)	3.7	12.4	50.6	1.7	0	24.9	6.8
	性別無回答 (n=28)	3.6	10.7	50	0	0	25	10.7

## (エ) 政治の場

		て いる 男性の方 が非常 に優遇さ れ	が 優遇さ れて いる どち らか とい え ば男 性の 方	平 等	が 優遇さ れて いる どち らか とい え ば女 性の 方	て いる 女性の方 が非常 に優遇さ れ	わ から ない	無 回答
単位：%								
全体 (n=580)		31	43.3	11.2	0.3	0	10.3	3.8
年 齢 別	10 歳代 (n=12)	41.7	25	0	0	0	33.3	0
	20 歳代 (n=35)	45.7	25.7	14.3	2.9	0	11.4	0
	30 歳代 (n=42)	40.5	40.5	14.3	0	0	4.8	0
	40 歳代 (n=60)	30	45	11.7	1.7	0	11.7	0
	50 歳代 (n=78)	33.3	39.7	16.7	0	0	6.4	3.8
	60 歳代 (n=119)	28.6	50.4	10.9	0	0	8.4	1.7
	70 歳以上 (n=207)	28.5	44	9.2	0	0	11.6	6.8
	年齢無回答 (n=27)	18.5	48.1	7.4	0	0	14.8	11.1
男女 別	男性 (n=198)	23.7	46	17.2	0.5	0	10.1	2.5
	女性 (n=354)	35.9	41.2	8.2	0.3	0	10.5	4
	性別無回答 (n=28)	21.4	50	7.1	0	0	10.7	10.7

(才) 地域活動の  
場

		て い る	男 性 の 方 が 非 常 に 優 遇 さ れ て い る	が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば 男 性 の 方	平 等	が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば 女 性 の 方	女 性 の 方 が 非 常 に 優 遇 さ れ て い る	わ か ら な い	無 回 答
単位：%											
全体 (n=580)		6.9	30.3	37.8	7.6	0.3	13.6	3.4			
年 齢 別	10 歳代 (n=12)	8.3	16.7	41.7	0	0	33.3	0			
	20 歳代 (n=35)	0	17.1	40	2.9	2.9	37.1	0			
	30 歳代 (n=42)	14.3	26.2	42.9	0	0	16.7	0			
	40 歳代 (n=60)	6.7	21.7	46.7	15	0	10	0			
	50 歳代 (n=78)	10.3	33.3	34.6	9	0	11.5	1.3			
	60 歳代 (n=119)	5.9	36.1	31.1	9.2	0	12.6	5			
	70 歳以上 (n=207)	5.8	30.4	41.1	6.3	0.5	10.1	5.8			
	年齢無回答 (n=27)	7.4	44.4	18.5	11.1	0	14.8	3.7			
男女 別	男性 (n=198)	6.1	27.3	44.4	9.6	0.5	9.6	2.5			
	女性 (n=354)	7.3	31.4	35.3	6.2	0.3	15.5	4			
	性別無回答 (n=28)	7.1	39.3	21.4	10.7	0	17.9	3.6			

(才) 法律や制度  
の上

		て い る	男 性 の 方 が 非 常 に 優 遇 さ れ て い る	が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば 男 性 の 方	平 等	が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば 女 性 の 方	女 性 の 方 が 非 常 に 優 遇 さ れ て い る	わ か ら な い	無 回 答
単位：%											
全体 (n=580)		11	35.3	29.3	4.8	1.2	14.8	3.4			
年 齢 別	10 歳代 (n=12)	8.3	25	16.7	8.3	0	41.7	0			
	20 歳代 (n=35)	11.4	17.1	37.1	14.3	0	20	0			
	30 歳代 (n=42)	16.7	28.6	23.8	11.9	4.8	14.3	0			
	40 歳代 (n=60)	11.7	35	28.3	11.7	1.7	11.7	0			
	50 歳代 (n=78)	11.5	33.3	33.3	7.7	2.6	7.7	3.8			
	60 歳代 (n=119)	7.6	44.5	28.6	3.4	0.8	11.8	3.4			
	70 歳以上 (n=207)	12.1	35.7	29.5	0	0.5	16.9	5.3			
	年齢無回答 (n=27)	7.4	37	25.9	0	0	22.2	7.4			
男女 別	男性 (n=198)	6.1	30.8	38.9	10.6	3	9.1	1.5			
	女性 (n=354)	14.1	38.1	23.4	2	0.3	17.8	4.2			
	性別無回答 (n=28)	7.1	32.1	35.7	0	0	17.9	7.1			

(キ) 社会通念・  
慣習・しきたり

		て いる	男性 の方 が 非 常 に 優 遇 さ れ て い る	が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば 男 性 の 方	平 等	が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば 女 性 の 方	て いる	女性 の方 が 非 常 に 優 遇 さ れ て い る	わ か ら な い	無 回 答
単位：%												
全体 (n=580)		19.8	52.6	12.9	1.4	0.2	10	3.1				
年 齢 別	10 歳代 (n=12)	25	33.3	8.3	8.3	0	25	0				
	20 歳代 (n=35)	25.7	17.1	28.6	2.9	0	25.7	0				
	30 歳代 (n=42)	28.6	52.4	4.8	2.4	0	11.9	0				
	40 歳代 (n=60)	21.7	51.7	13.3	3.3	0	6.7	3.3				
	50 歳代 (n=78)	19.2	53.8	15.4	2.6	0	7.7	1.3				
	60 歳代 (n=119)	20.2	59.7	10.1	0	0.8	6.7	2.5				
	70 歳以上 (n=207)	16.9	56.5	12.6	0.5	0	8.7	4.8				
	年齢無回答 (n=27)	14.8	44.4	14.8	0	0	18.5	7.4				
男女 別	男性 (n=198)	12.6	56.6	17.2	3	0	9.6	1				
	女性 (n=354)	24.3	50.8	10.2	0.6	0.3	9.9	4				
	性別無回答 (n=28)	14.3	46.4	17.9	0	0	14.3	7.1				

(ク) 社会全体

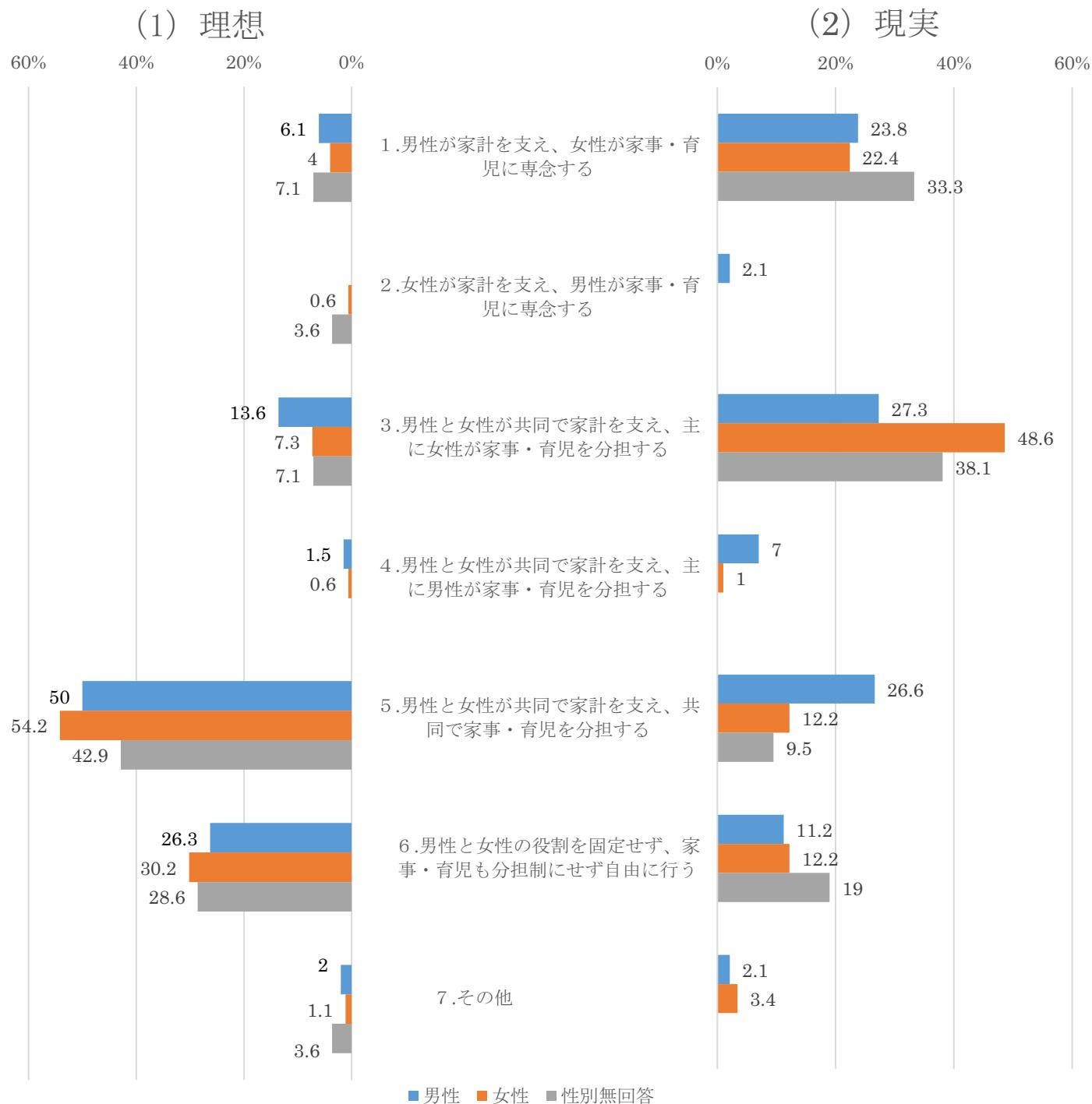
		て いる	男性 の方 が 非 常 に 優 遇 さ れ て い る	が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば 男 性 の 方	平 等	が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば 女 性 の 方	て いる	女性 の方 が 非 常 に 優 遇 さ れ て い る	わ か ら な い	無 回 答
単位：%												
全体 (n=580)		11.7	55.3	17.2	3.8	0.3	7.6	4				
年 齢 別	10 歳代 (n=12)	8.3	58.3	8.3	8.3	0	16.7	0				
	20 歳代 (n=35)	8.6	45.7	28.6	8.6	0	8.6	0				
	30 歳代 (n=42)	7.1	57.1	16.7	4.8	2.4	7.1	4.8				
	40 歳代 (n=60)	13.3	56.7	13.3	11.7	1.7	3.3	0				
	50 歳代 (n=78)	20.5	48.7	19.2	6.4	0	5.1	0				
	60 歳代 (n=119)	7.6	62.2	14.3	0.8	0	6.7	8.4				
	70 歳以上 (n=207)	12.1	55.6	18.8	1.4	0	7.7	4.3				
	年齢無回答 (n=27)	11.1	48.1	11.1	0	0	22.2	7.4				
男女 別	男性 (n=198)	7.1	53	25.3	7.1	0.5	5.1	2				
	女性 (n=354)	14.4	56.8	13.3	2.3	0.3	8.2	4.8				
	性別無回答 (n=28)	10.7	53.6	10.7	0	0	17.9	7.1				

問2 家庭生活における男女の役割分担の理想と現実について、伺います。

(1) あなたの理想に最も近いものはどれですか。 N=580 選択数: 1

(2) あなたの家庭での実際の役割分担に最も近いものはどれですか(どれでしたか)。

【結婚している(したことのある)方のみ回答】 N=458 (男性 143 女性 294 無回答 21) 選択数: 1



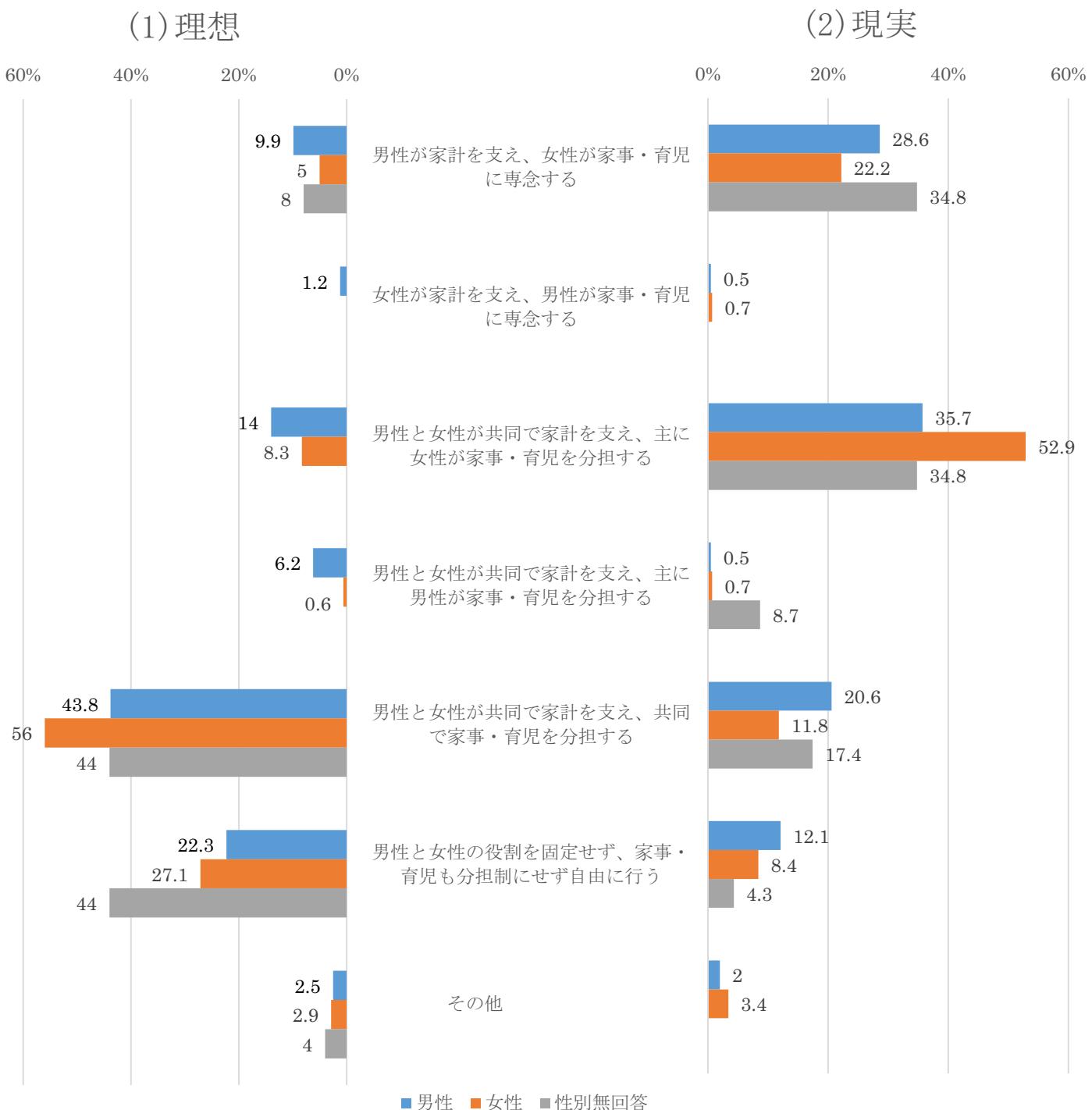
家庭生活における男女の理想の役割分担について尋ねたところ、性別にかかわらず「男性と女性が共同で家計を支え、共同で家事・育児を分担する」(男性 50%、女性 54.2%、性別無回答 42.9%) が最も高く、次いで「男性と女性の役割を固定せず、家事・育児も分担制にせず自由に行う」(男性 26.3%、女性 30.2%、性別無回答 28.6%) となっている。

一方、家庭生活における男女の現実(現状)の役割分担について尋ねたところ、性別にかかわらず「男性と女性が共同で家計を支え、主に女性が家事・育児を分担する」(男性 27.3%、女性 48.6%、性別無回答 38.1%) が最も高く、次いで、男性では「男性と女性が共同で家計を支え、共同で家事・育児を分担する」(26.6%)、女性及び性別無回答では「男性が家計を支え、女性が家事・育児に専念する」(女性 22.4%、性別無回答 33.3%) となっている。

## ●前回調査（5年前）の香美市男女共同参画社会に関する市民意識調査結果

(1) 理想 N=606 (男性 242 女性 339 無回答 25)

(2) 現実 N=519 (男性 199 女性 297 無回答 23)



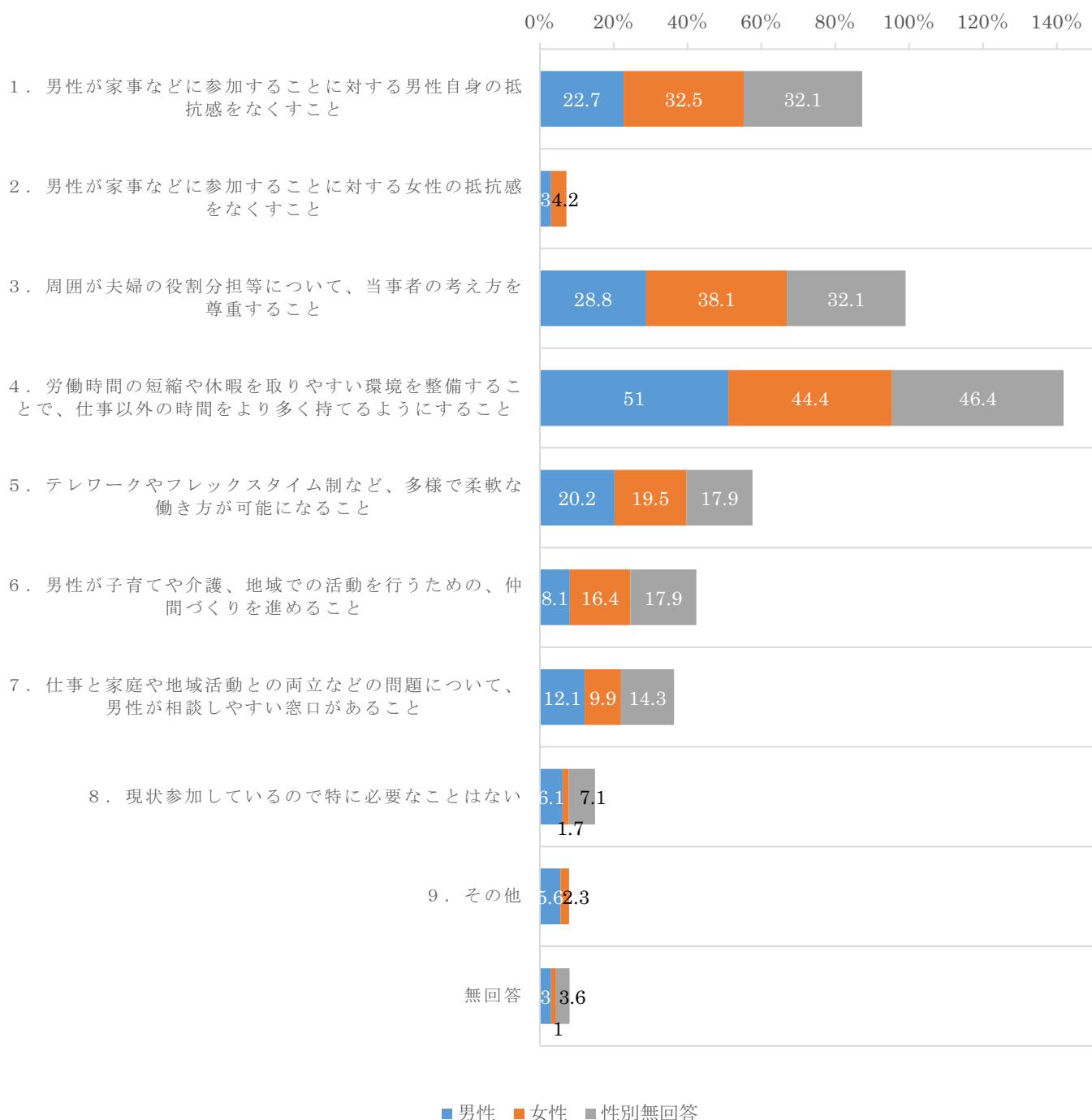
前回調査において、家庭生活における男女の理想の役割分担については、性別にかかわらず「男性と女性が共同で家計を支え、共同で家事・育児を分担する」（男性 43.8%、女性 56%、性別無回答 44%）が最も高く、次いで「男性と女性の役割を固定せず、家事・育児も分担制にせず自由に行う」（男性 22.3%、女性 27.1%、性別無回答 44%）となっている。

一方、家庭生活における男女の現実（現状）の役割分担については、性別にかかわらず「男性と女性が共同で家計を支え、主に女性が家事・育児を分担する」（男性 35.7%、女性 52.9%、性別無回答 34.8%）が最も高く、次いで「男性が家計を支え、女性が家事・育児に専念する」（男性 28.6%、女性 22.2%、性別無回答 34.8%）、「男性と女性が共同で家計を支え、共同で家事・育児を分担する」（男性 20.6%、女性 11.8%、性別無回答 17.4%）となっている。

		する	する	する	する	する	事・育児を分担する	男性と女性が共同で家計を支え、主に男性が家事・育児を分担する	男性と女性が共同で家計を支え、主に女性が家事・育児に専念する	男性が家計を支え、女性が家事・育児に専念する	その他	無回答
単位：%												
(1) 理想	全体 (n=580)	4.8	0.5	9.5	0.9	52.2	28.8	1.6	1.7			
年齢別	10 歳代 (n=12)	0	0	8.3	0	66.7	25	0	0			
	20 歳代 (n=35)	2.9	0	8.6	2.9	60	22.9	2.9	0			
	30 歳代 (n=42)	4.8	0	9.5	0	54.8	26.2	4.8	0			
	40 歳代 (n=60)	1.7	0	5	0	68.3	25	0	0			
	50 歳代 (n=78)	3.8	2.6	5.1	1.3	52.6	33.3	1.3	0			
	60 歳代 (n=119)	5	0	7.6	0.8	49.6	32.8	1.7	2.5			
	70 歳以上 (n=207)	5.8	0	13.5	1	48.3	28	1	2.4			
	年齢無回答 (n=27)	11.1	3.7	11.1	0	37	25.9	3.7	7.4			
男女別	男性 (n=198)	6.1	0	13.6	1.5	50	26.3	2	0.5			
	女性 (n=354)	4	0.6	7.3	0.6	54.2	30.2	1.1	2			
	性別無回答 (n=28)	7.1	3.6	7.1	0	42.9	28.6	3.6	7.1			

(2) 現実	全体 (n=458)	23.4	0.7	41.5	2.8	16.6	12.2	2.8				
年齢別	10 歳代 (n=0)	0	0	0	0	0	0	0	0			
	20 歳代 (n=10)	10	0	20	10	50	10	0	0			
	30 歳代 (n=28)	10.7	0	28.6	0	35.7	17.9	7.1	0			
	40 歳代 (n=46)	17.4	0	45.7	4.3	19.6	10.9	2.2	0			
	50 歳代 (n=62)	32.3	0	29	4.8	16.1	9.7	8.1	0			
	60 歳代 (n=99)	29.3	1	38.4	4	17.2	9.1	1	0			
	70 歳以上 (n=192)	20.3	1	50	1.6	12	13	2.1	0			
	年齢無回答 (n=21)	33.3	0	33.3	0	9.5	23.8	0	0			
男女別	男性 (n=143)	23.8	2.1	27.3	7	26.6	11.2	2.1	0			
	女性 (n=294)	22.4	0	48.6	1	12.2	12.2	3.4	0			
	性別無回答 (n=21)	33.3	0	38.1	0	9.5	19	0	0			

問3 今後、男性が女性とともに、家事、子育て、介護、地域での活動に積極的に参加していくためには、  
どんなことが必要だと思いますか？ N=580 選択数：複数回答あり



男性が女性とともに、家事、子育て、介護、地域での活動に積極的に参加していくために必要なことについて尋ねたところ、「労働時間の短縮や休暇を取りやすい環境を整備することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」（男性 51%、女性 44.4%、性別無回答 46.4%）が最も高く、次いで「周囲が夫婦の役割分担等について、当事者の考え方を尊重すること」（男性 28.8%、女性 38.1%、性別無回答 32.1%）、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」（男性 22.7%、女性 32.5%、性別無回答 32.1%）の順となっている。

									その他
現状参加しているので特に必要なことはない									
									仕事と家庭や地域活動との両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口があること
年齢別	10歳代 (n=12)	25	0	25	58.3	50	0	8.3	0
	20歳代 (n=35)	25.7	2.9	28.6	54.3	25.7	20	2.9	2.9
	30歳代 (n=42)	31	2.4	26.2	52.4	31	14.3	16.7	2.4
	40歳代 (n=60)	21.7	6.7	30	63.3	21.7	5	10	3.3
	50歳代 (n=78)	25.6	0	32.1	55.1	19.2	6.4	7.7	6.4
	60歳代 (n=119)	30.3	5	38.7	39.5	23.5	16	14.3	1.7
	70歳以上 (n=207)	32.4	3.4	37.2	40.1	12.6	16.9	10.1	3.9
	年齢無回答 (n=27)	29.6	7.4	40.7	44.4	14.8	14.8	14.8	3.7
男女別	男性 (n=198)	22.7	3	28.8	51	20.2	8.1	12.1	6.1
	女性 (n=354)	32.5	4.2	38.1	44.4	19.5	16.4	9.9	1.7
	性別無回答 (n=28)	32.1	0	32.1	46.4	17.9	17.9	14.3	7.1

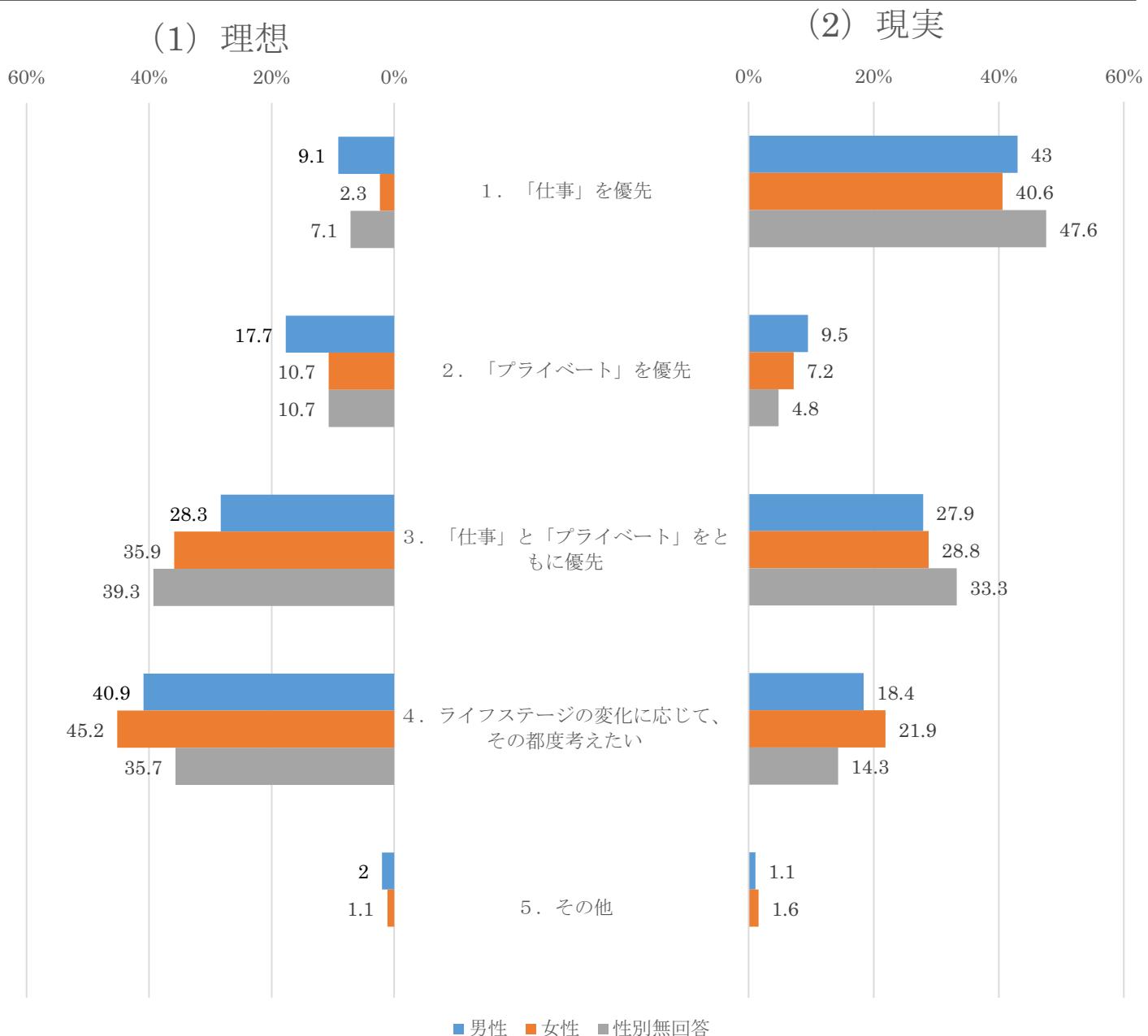
単位 : %

問4 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランスについて、伺います。

(1) 生活の中での、「仕事」と家庭生活・地域活動・趣味などの「プライベート」の優先度について、あなたの理想に最も近いものはどれですか？ N=580 選択数:1

(2) あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか(どれでしたか)。

【働いている(働いたことのある)方のみ回答】 N=520 (男性 179 女性 320 無回答 21) 選択数:1



仕事とプライベートの優先度の理想に最も近いものについて尋ねたところ、男性及び女性では「ライフステージの変化に応じて、その都度考えたい」(男性 40.9%、女性 45.2%) が最も高く、次いで「「仕事」と「プライベート」をともに優先したい」(男性 28.3%、女性 35.9%) の順になっている。性別無回答では、「「仕事」と「プライベート」をともに優先したい」(39.3%) が最も高く、次いで「ライフステージの変化に応じて、その都度考えたい」(35.7%) の順になっている。

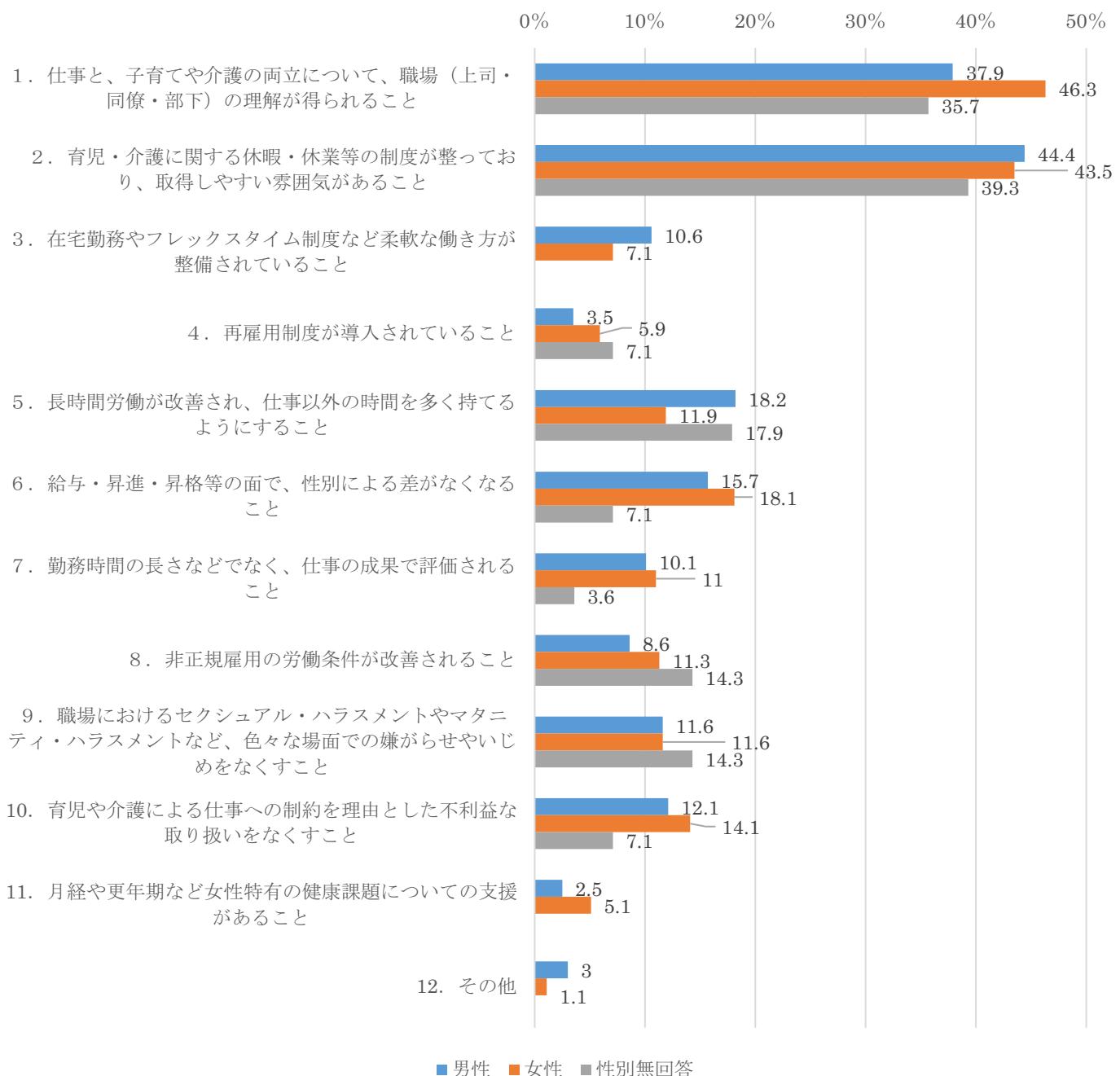
一方、仕事とプライベートの優先度の現実（現状）に最も近いものについて尋ねたところ、性別にかかわらず「「仕事」を優先」(男性 43%、女性 40.6%、性別無回答 47.6%) が最も高く、次いで「「仕事」と「プライベート」をともに優先」(男性 27.9%、女性 28.8%、性別無回答 33.3%)、「ライフステージの変化に応じて、その都度考えたい」(男性 18.4%、女性 21.9%、性別無回答 14.3%) の順となっている。

		「仕事」を優先したい	「プライベート」を優先したい	「仕事」と「プライベート」をともに優先したい	ライフステージの変化に応じて、その都度考えたい	その他	無回答
単位：%							
(1) 理想	全体 (n=580)	4.8	13.1	33.4	43.3	1.4	4
年齢別	10歳代 (n=12)	0	33.3	25	41.7	0	0
	20歳代 (n=35)	0	34.3	25.7	40	0	0
	30歳代 (n=42)	4.8	31	19	40.5	2.4	2.4
	40歳代 (n=60)	1.7	30	31.7	28.3	0	8.3
	50歳代 (n=78)	5.1	14.1	25.6	48.7	5.1	1.3
	60歳代 (n=119)	2.5	5	35.3	55.5	0.8	0.8
	70歳以上 (n=207)	8.2	4.3	39.1	41.1	1	6.3
	年齢無回答 (n=27)	3.7	11.1	44.4	33.3	0	7.4
男女別	男性 (n=198)	9.1	17.7	28.3	40.9	2	2
	女性 (n=354)	2.3	10.7	35.9	45.2	1.1	4.8
	性別無回答 (n=28)	7.1	10.7	39.3	35.7	0	7.1

(2) 現実	全体 (n=520)	41.7	7.9	28.7	20.4	1.3
年齢別	10歳代 (n=4)	0	25	50	25	0
	20歳代 (n=28)	32.1	32.1	32.1	0	3.6
	30歳代 (n=41)	31.7	12.2	34.1	22	0
	40歳代 (n=59)	35.6	13.6	33.9	15.3	1.7
	50歳代 (n=76)	47.4	6.6	27.6	14.5	3.9
	60歳代 (n=117)	47	3.4	24.8	23.9	0.9
	70歳以上 (n=174)	42.5	4	27	25.9	0.6
	年齢無回答 (n=21)	42.9	9.5	33.3	14.3	0
男女別	男性 (n=179)	43	9.5	27.9	18.4	1.1
	女性 (n=320)	40.6	7.2	28.8	21.9	1.6
	性別無回答 (n=21)	47.6	4.8	33.3	14.3	0

問5 男女がともに働きやすく活躍するためには、(1)企業など職場において、(2)行政の取組において、それぞれどんなことが必要だと思いますか。 N=580 選択数:複数回答あり

### (1)企業など職場において

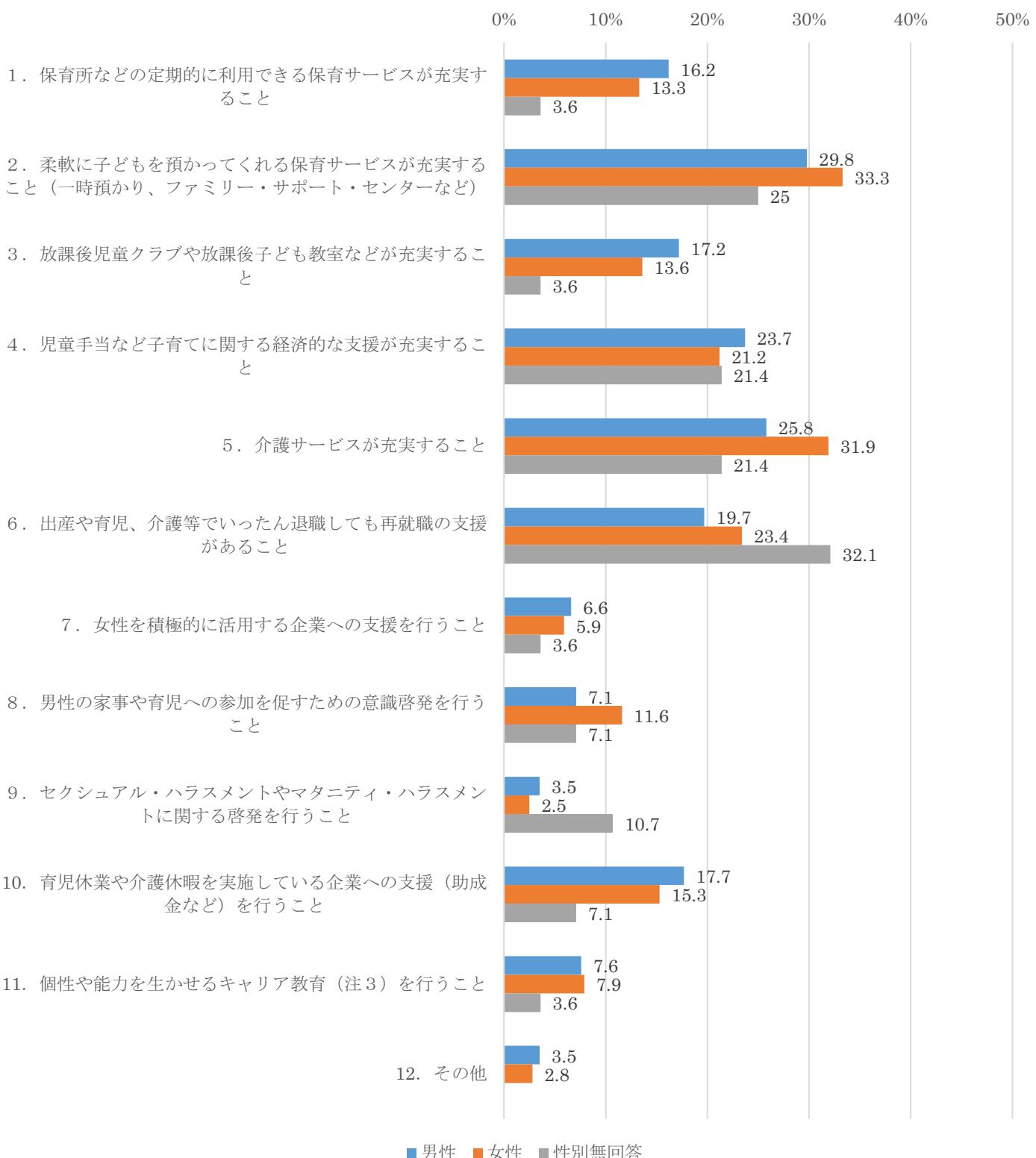


■男性 ■女性 ■性別無回答

男女がともに働きやすくなり、活躍するために企業など職場において必要なことについて尋ねたところ、男性及び性別無回答では「育児・介護に関する休暇・休業等の制度が整っており、取得しやすい雰囲気があること」（男性 44.4%、性別無回答 39.3%）が最も高く、次いで「仕事と、子育てや介護の両立について、職場（上司・同僚・部下）の理解が得られること」（男性 37.9%、性別無回答 35.7%）、「長時間労働が改善され、仕事以外の時間を多く持てるようになること」（男性 18.2%、性別無回答 17.9%）の順になっている。女性では、「仕事と、子育てや介護の両立について、職場（上司・同僚・部下）の理解が得られること」（46.3%）が最も高く、次いで「育児・介護に関する休暇・休業等の制度が整っており、取得しやすい雰囲気があること」（43.5%）、「給与・昇進・昇格等の面で、性別による差がなくなること」（18.1%）の順になっている。

### (1) 企業など職場において

## (2)行政の取組において



男女がともに働きやすくなり、活躍するために行政の取組において必要なことについて尋ねたところ、男性及び女性では「柔軟に子どもを預かってくれる保育サービスが充実すること（一時預かり、ファミリー・サポート・センターなど）」（男性 29.8%、女性 33.3%）が最も高く、次いで「介護サービスが充実すること」（男性 25.8%、女性 31.9%）、の順になっている。性別無回答では「出産や育児、介護等でいったん退職しても再就職の支援があること」（32.1%）が最も高く、次いで「柔軟に子どもを預かってくれる保育サービスが充実すること（一時預かり、ファミリー・サポート・センターなど）」（25%）の順になっている。

(2) 行政の取組において

													個性や能力を生かせるキャリア教育を行うこと	
													育児休業や介護休暇を実施している企業への支援（助成金など）を行うこと	
													セクシュアル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメントに関する啓発を行うこと	
													男性の家事や育児への参加を促すための意識啓発を行うこと	
													女性を積極的に活用する企業への支援を行うこと	
													女性の家事や育児への参加を促すための意識啓発を行うこと	
													出産や育児、介護等でいったん退職しても再就職の支援があること	
													介護サービスが充実すること	
													児童手当など子育てに関する経済的な支援が充実すること	
													放課後児童クラブや放課後子ども教室などが充実すること	
													柔軟に子どもを預かってくれる保育サービスが充実すること（一時預かり、ファミリー・サポートセンターなど）	
													保育所などの定期的に利用できる保育サービスが充実すること	
	単位：%													その他
全体 (n=580)	13.8	31.7	14.3	22.1	29.3	22.6	6	9.8	3.3	15.7	7.6	2.9		
年齢別	10歳代 (n=12)	16.7	33.3	0	66.7	8.3	16.7	8.3	25	0	8.3	16.7	0	
	20歳代 (n=35)	28.6	40	5.7	31.4	11.4	37.1	0	5.7	0	20	2.9	8.6	
	30歳代 (n=42)	33.3	16.7	26.2	42.9	7.1	19	4.8	7.1	2.4	14.3	2.4	7.1	
	40歳代 (n=60)	18.3	21.7	16.7	40	25	13.3	8.3	11.7	5	15	15	3.3	
	50歳代 (n=78)	14.1	32.1	2.6	14.1	37.2	23.1	7.7	7.7	3.8	19.2	10.3	6.4	
	60歳代 (n=119)	10.9	38.7	15.1	21.8	36.1	19.3	5	10.1	0.8	16.8	7.6	0.8	
	70歳以上 (n=207)	9.2	32.9	19.3	11.6	32.4	24.2	6.8	10.6	3.9	15	6.3	1.4	
	年齢無回答 (n=27)	0	25.9	0	22.2	29.6	33.3	3.7	7.4	11.1	7.4	3.7	0	
男女別	男性 (n=198)	16.2	29.8	17.2	23.7	25.8	19.7	6.6	7.1	3.5	17.7	7.6	3.5	
	女性 (n=354)	13.3	33.3	13.6	21.2	31.9	23.4	5.9	11.6	2.5	15.3	7.9	2.8	
	性別無回答 (n=28)	3.6	25	3.6	21.4	21.4	32.1	3.6	7.1	10.7	7.1	3.6	0	

問6-1 配偶者や恋人などからの（ア）～（シ）の行為について、暴力にあたると思いますか。

N=580 (男性 198 女性 354 性別無回答 28) 選択数: 1

- (ア)素手で殴ったり、足でける
- (イ)バットやベルト等、物を使って殴る
- (ウ)物を投げつける。突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする
- (エ)ドアをけったり、壁に物を投げつける。刃物などを突きつけたり、殴るふりをしておどす
- (オ)大声でどなる、罵倒するなどして恐怖感を与える
- (カ)小バカにするようなことを言ったり、態度を取る
- (キ)何を言っても、長時間無視し続ける
- (ク)交友関係を制限したり、電話、メール等を細かくチェックする
- (ケ)嫌がっているのに、性的な行為を強制する
- (コ)見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる
- (サ)「誰のおかげで生活できるのか」などと言う
- (シ)生活費を渡さない、極端に制限して渡す

〈男性〉



〈女性〉



〈性別無回答〉



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

配偶者や恋人などからの（ア）～（シ）の行為について、暴力にあたると思うかを尋ねたところ、性別にかかわらず、（ア）～（シ）の12項目全てで「暴力にあたる（はい）」の割合が最も高いが、「（ク）交友関係を制限したり、電話、メール等を細かくチェックする」、「（キ）何を言っても、長時間無視し続ける」、「（カ）小バカにするようなことを言ったり、態度を取る」、「（コ）見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる」、「（サ）「誰のおかげで生活できるのか」などと言う」、「（シ）生活費を渡さない、極端に制限して渡す」の6項目は他の項目と比較して「暴力にあたると思わない（いいえ）」の割合が高くなっている。

問6-2 配偶者や恋人などへ（ア）～（シ）の行為について、直接したことがありますか。

N=580 選択数：1

- (ア)素手で殴ったり、足でける
- (イ)バットやベルト等、物を使って殴る
- (ウ)物を投げつける。突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする
- (エ)ドアをけつたり、壁に物を投げつける。刃物などを突きつけたり、殴るふりをしておどす
- (オ)大声でどなる、罵倒するなどして恐怖感を与える
- (カ)小バカにするようなことを言ったり、態度を取る
- (キ)何を言っても、長時間無視し続ける
- (ク)交友関係を制限したり、電話、メール等を細かくチェックする
- (ケ)嫌がっているのに、性的な行為を強制する
- (コ)見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる
- (サ)「誰のおかげで生活できるのか」などと言う
- (シ)生活費を渡さない、極端に制限して渡す

〈男性〉



〈女性〉



〈性別無回答〉



■はい ■いいえ ■無回答

配偶者や恋人などへ（ア）～（シ）の行為について、直接したことがあるかを尋ねたところ、男性及び女性では、（ア）～（シ）の12項目全てで「直接したことがない（いいえ）」の割合が最も高いが、「（カ）小バカにするようなことを言ったり、態度を取る」、「（オ）大声でどなる、罵倒するなどして恐怖感を与える」、「（キ）何を言っても、長時間無視し続ける」、の3項目は他の項目と比較して「直接したことがある（はい）」の割合が高くなっている。性別無回答では、「（オ）大声でどなる、罵倒するなどして恐怖感を与える」の項目で「直接したことがある（はい）」の割合が最も高くなっている。

問6-3 配偶者や恋人などからの（ア）～（シ）の行為について、直接されたことがありますか。

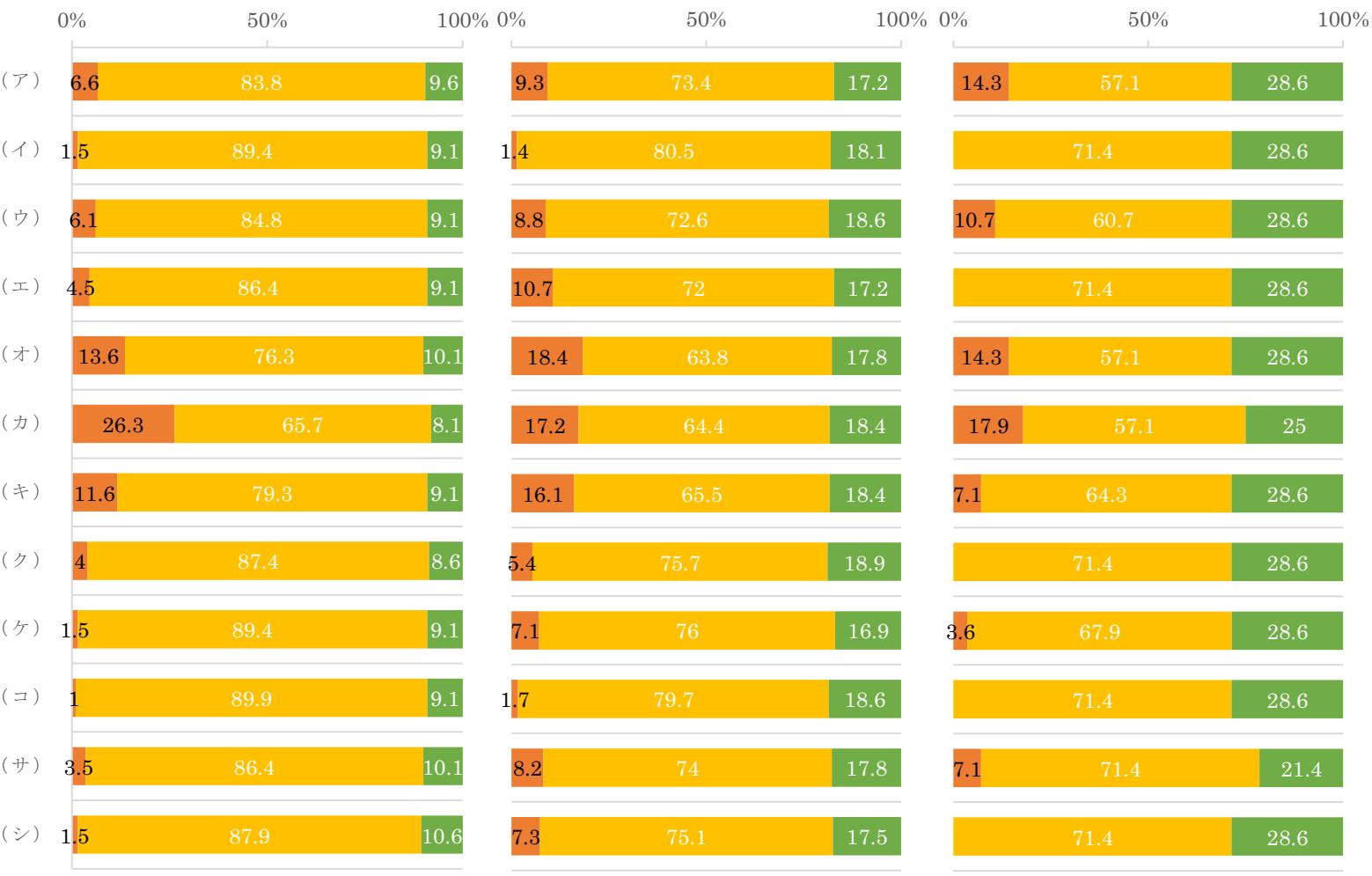
N=580 選択数：1

- (ア)素手で殴ったり、足でける
- (イ)バットやベルト等、物を使って殴る
- (ウ)物を投げつける。突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする
- (エ)ドアをけつたり、壁に物を投げつける。刃物などを突きつけたり、殴るふりをしておどす
- (オ)大声でどなる、罵倒するなどして恐怖感を与える
- (カ)小バカにするようなことを言ったり、態度を取る
- (キ)何を言っても、長時間無視し続ける
- (ク)交友関係を制限したり、電話、メール等を細かくチェックする
- (ケ)嫌がっているのに、性的な行為を強制する
- (コ)見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる
- (サ)「誰のおかげで生活できるのか」などと言う
- (シ)生活費を渡さない、極端に制限して渡す

〈男性〉

〈女性〉

〈性別無回答〉



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

配偶者や恋人などからの（ア）～（シ）の行為について、直接されたことがあるかを尋ねたところ、（ア）～（シ）の12項目全てで「直接されたことがない（いいえ）」の割合が最も高いが、「（カ）小バカにするようなことを言ったり、態度を取る」、「（オ）大声でどなる、罵倒するなどして恐怖感を与える」、「（キ）何を言っても、長時間無視し続ける」の3項目は他の項目と比較して「直接されたことがある（はい）」の割合が高くなっている。

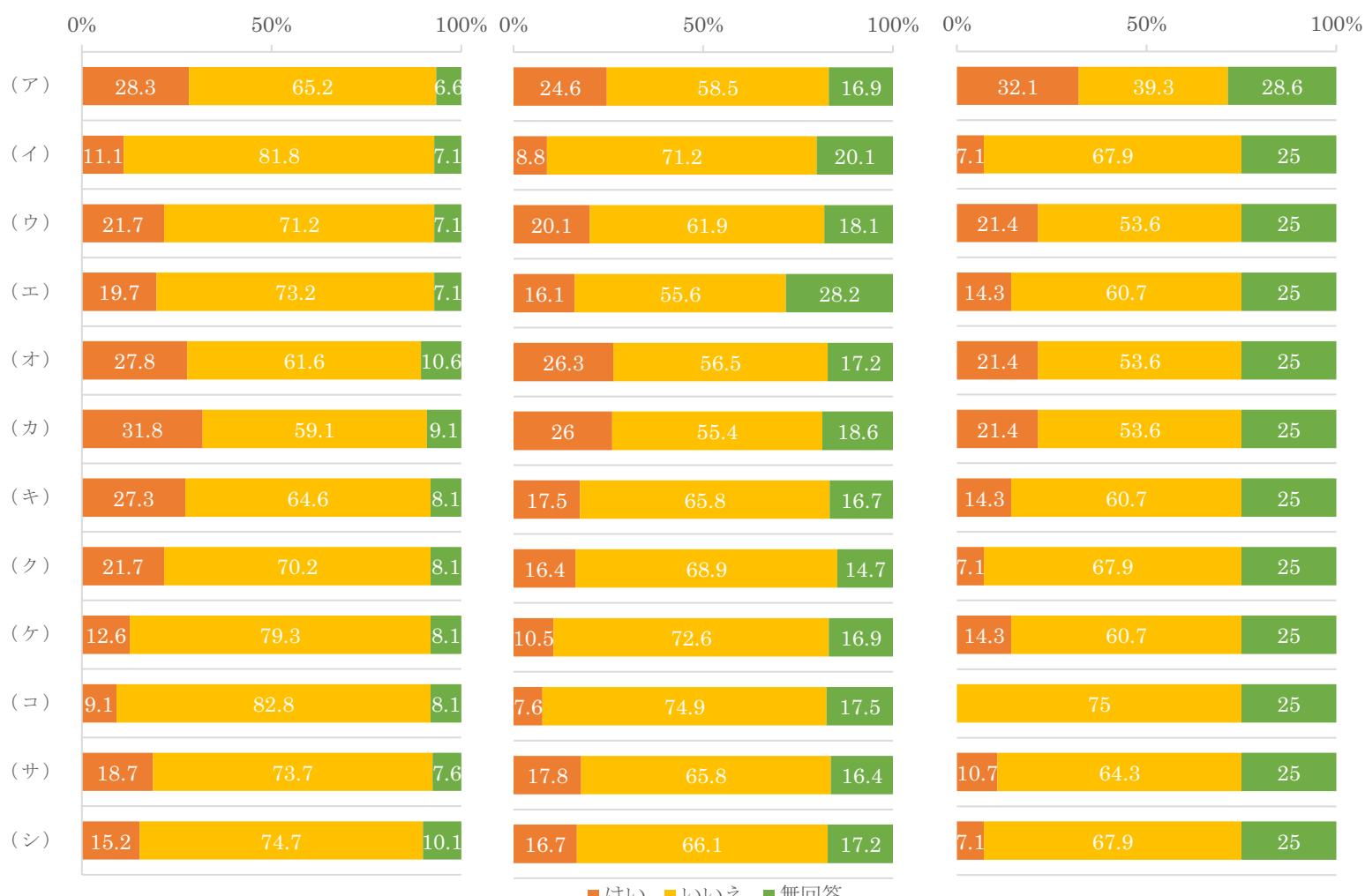
問6-4 配偶者や恋人などからの（ア）～（シ）の行為について、直接したことやされたことはないが、  
身近に見聞きしたことはありますか。 N=580 選択数：1

- (ア)素手で殴ったり、足でける
- (イ)バットやベルト等、物を使って殴る
- (ウ)物を投げつける。突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする
- (エ)ドアをけつたり、壁に物を投げつける。刃物などを突きつけたり、殴るふりをしておどす
- (オ)大声でどなる、罵倒するなどして恐怖感を与える
- (カ)小バカにするようなことを言ったり、態度を取る
- (キ)何を言っても、長時間無視し続ける
- (ク)交友関係を制限したり、電話、メール等を細かくチェックする
- (ケ)嫌がっているのに、性的な行為を強制する
- (コ)見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる
- (サ)「誰のおかげで生活できるのか」などと言う
- (シ)生活費を渡さない、極端に制限して渡す

〈男性〉

〈女性〉

〈性別無回答〉

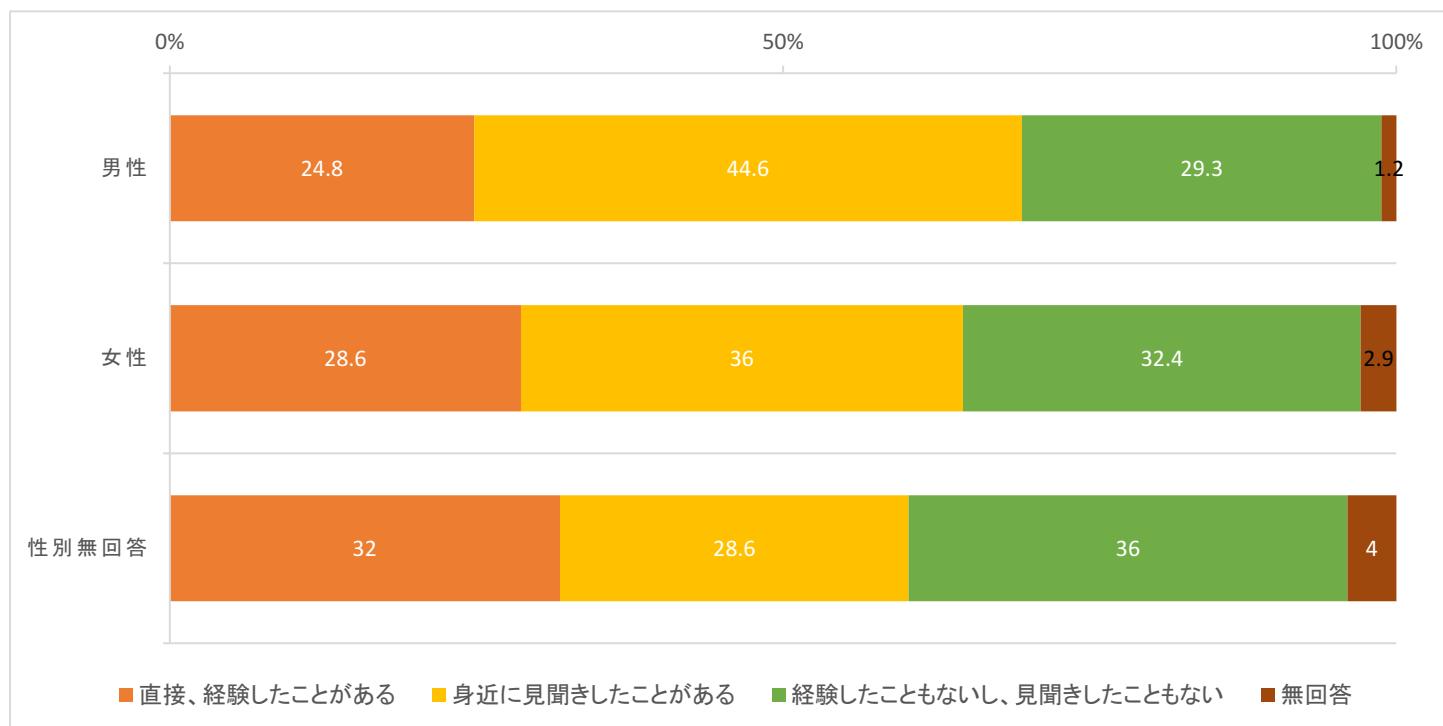


配偶者や恋人などからの（ア）～（シ）の行為について、直接したことやされたことはないが、身近に見聞きしたことはあるかを尋ねたところ、性別にかかわらず（ア）～（シ）の12項目全てで「身近に見聞きしたことはない（いいえ）」の割合が最も高くなっている。「（ア）素手で殴ったり、足でける」、「（カ）小バカにするようなことを言ったり、態度を取る」、「（オ）大声でどなる、罵倒するなどして恐怖感を与える」、「（ウ）物を投げつける。突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする」、「（キ）何を言っても、長時間無視し続ける」の5項目は他の項目と比較して「身近に見聞きしたことがある（はい）」の割合が高くなっている。

●前回調査（5年前）の香美市男女共同参画社会に関する市民意識調査結果（N=606）

問 あなたは（ア）～（シ）のようなことを経験したり、見聞きしたことがありますか。

- (ア)素手で殴ったり、足でける
- (イ)バットやベルト等、物を使って殴る
- (ウ)物を投げつける。突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする
- (エ)ドアをけったり、壁に物を投げつける。刃物などを突きつけたり、殴るふりをしておどす
- (オ)大声でどなる、罵倒するなどして恐怖感を与える
- (カ)小バカにするようなことを言ったり、態度を取る
- (キ)何を言っても、長時間無視し続ける
- (ク)交友関係を制限したり、電話、メール等を細かくチェックする
- (ケ)嫌がっているのに、性的な行為を強制する
- (コ)見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる
- (サ)「誰のおかげで生活できるのか」などと言う
- (シ)生活費を渡さない、極端に制限して渡す

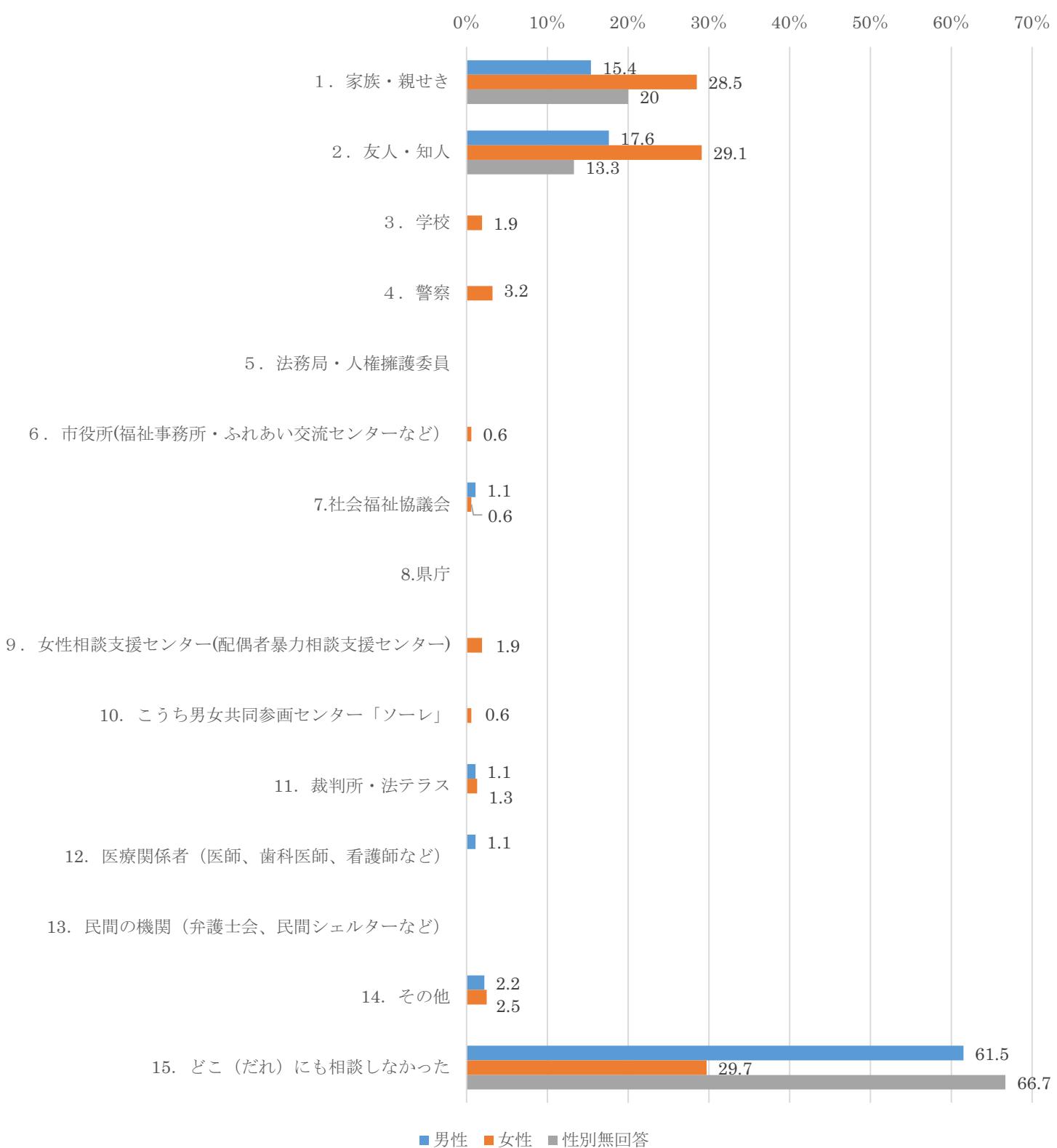


前回調査において、配偶者や恋人などからの（ア）～（シ）の行為について経験したり、見聞きしたことがあるかを尋ねたところ、男性では「身近に見聞きしたことがある」（44.6%）が最も高く、次いで「経験したことないし、見聞きしたことない」（29.3%）、「直接、経験したことがある」（24.8%）の順で割合が高くなっている。女性では「身近に見聞きしたことがある」（36%）が最も高く、次いで「経験したことないし、見聞きしたことない」（32.4%）、「直接、経験したことがある」（28.6%）の順で割合が高くなっている。性別無回答では「経験したことないし、見聞きしたことない」（36%）が最も高く、次いで「直接経験したことがある」（32%）、「身近に見聞きしたことがある」（28.6%）の順で割合が高くなっている。

問6 <副問> あなたは問6(ア)～(シ)のことについて誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。

【問6-2、問6-3で「はい」と回答した方のみ回答】

N=264 (男性 91 女性 158 無回答 15) 選択数:複数回答あり

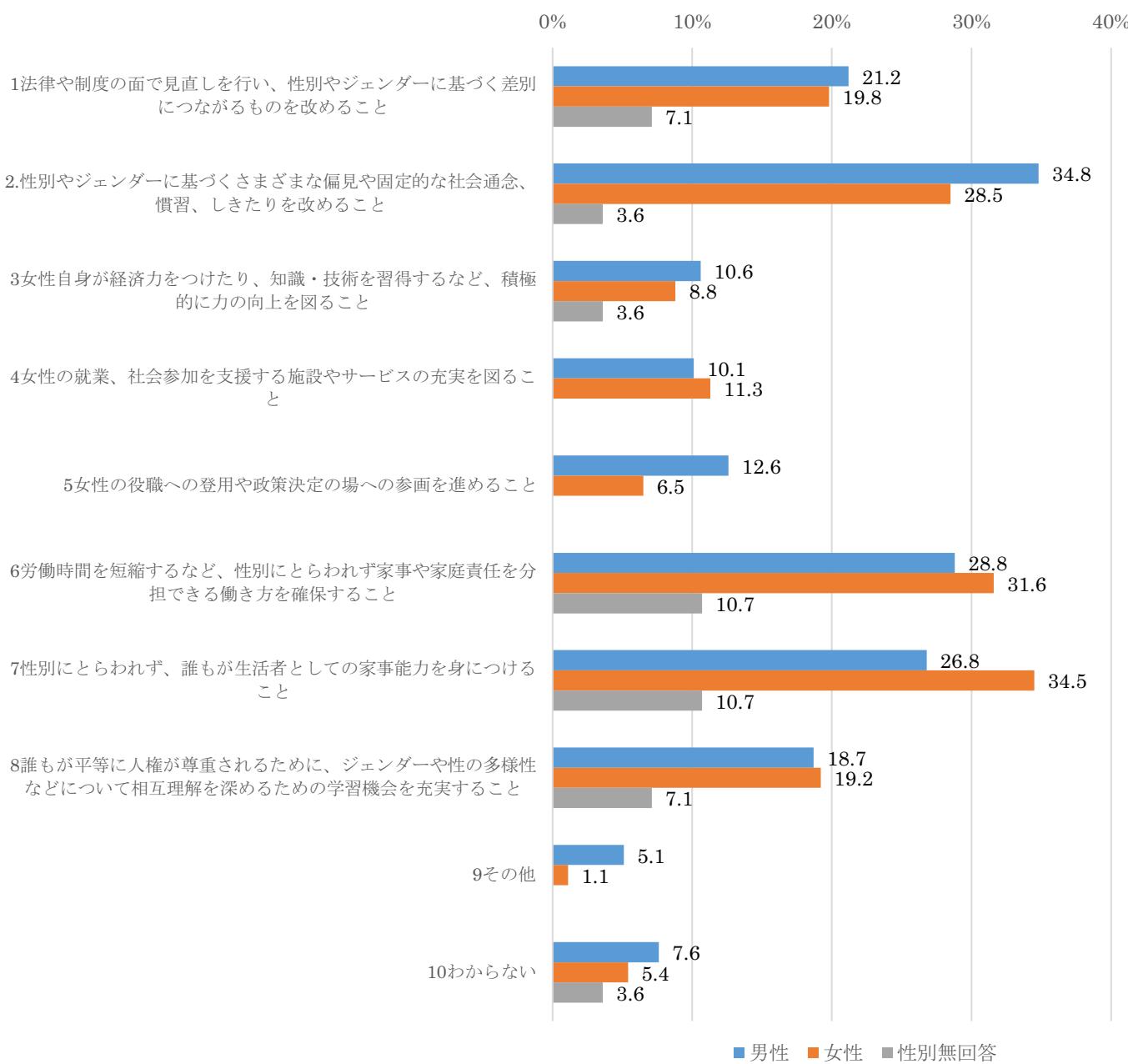


問6において、(ア)～(シ)のいずれかのDVを「直接したことがある」「直接されたことがある」と回答した方に、DV経験について、打ち明けたり、相談した相手について尋ねたところ、性別にかかわらず「どこ(だれ)にも相談しなかった」(男性61.5%、女性29.7%、性別無回答66.7%)の割合が最も高くなっている。次いで、男性及び女性では「友人・知人」(男性17.5%、女性29.1%)、「家族・親せき」(男性15.4%、女性28.5%)の順に、性別無回答では「家族・親せき」(20%)、「友人・知人」(13.3%)の順になっている。

どこ（だれ）にも相談しなかった  
その他

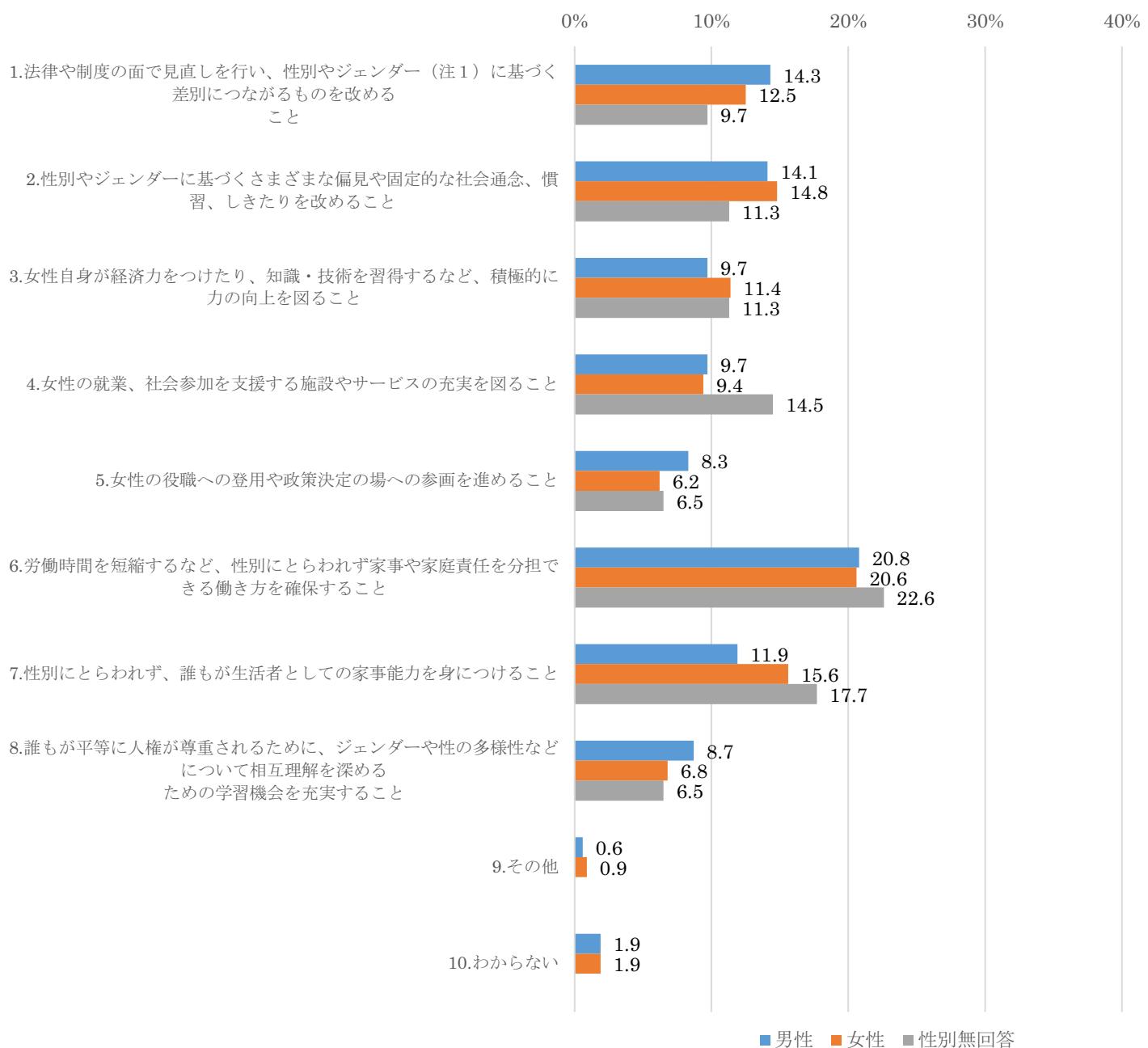
		家族・親せき	友人・知人	学校	警察	法務局・人権擁護委員	市役所（福祉事務所・ふれあい交流センターなど）	社会福祉協議会	県庁	女性相談支援センター（配偶者暴力相談支援センター）	こうち男女共同参画センター「ソーレ」	裁判所・法テラス	医療関係者（医師、歯科医師、看護師など）	民間の機関（弁護士会、民間シェルターなど）	その他	
全体 (n=264)		23.5	24.2	1.1	1.9	0	0.4	0.8	0	1.1	0.4	1.1	0.4	0	2.3	42.8
年齢別	10歳代 (n=4)	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75
	20歳代 (n=16)	25	31.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43.8
	30歳代 (n=14)	28.6	21.4	7.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42.9
	40歳代 (n=36)	19.4	30.6	0	2.8	0	2.8	0	0	2.8	0	2.8	0	0	2.8	36.1
	50歳代 (n=38)	21.1	21.1	0	2.6	0	0	0	0	2.6	0	0	0	0	5.3	47.4
	60歳代 (n=48)	20.8	29.2	2.1	2.1	0	0	0	0	0	0	2.1	0	0	2.1	41.7
	70歳以上 (n=95)	27.4	21.1	1.1	2.1	0	0	2.1	0	1.1	1.1	1.1	1.1	0	2.1	40
	年齢無回答 (n=13)	23.1	15.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61.5
男女別	男性 (n=91)	15.4	17.6	0	0	0	0	1.1	0	0	0	1.1	1.1	0	2.2	61.5
	女性 (n=158)	28.5	29.1	1.9	3.2	0	0.6	0.6	0	1.9	0.6	1.3	0	0	2.5	29.7
	性別無回答 (n=15)	20	13.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66.7

問7 あなたは、今まで以上に男女共同参画社会を実現するためには、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。 N=580 選択数:複数回答あり



男女共同参画社会を実現するために力を入れていくべきことについて尋ねたところ、男性では「性別やジェンダーに基づくさまざまな偏見や固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること」(34.8%)の割合が最も高く、次いで「労働時間を短縮するなど、性別にとらわれず家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること」(28.8%)、「性別にとらわれず、誰もが生活者としての家事能力を身につけること」(26.8%)の順になっている。女性では「性別にとらわれず、誰もが生活者としての家事能力を身につけること」(34.5%)の割合が最も高く、次いで「労働時間を短縮するなど、性別にとらわれず家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること」(31.6%)、「性別やジェンダーに基づくさまざまな偏見や固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること」(28.5%)の順になっている。性別無回答では「労働時間を短縮するなど、性別にとらわれず家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること」(10.7%)、「性別にとらわれず、誰もが生活者としての家事能力を身につけること」(10.7%)の割合が最も高く、次いで「法や制度の面で見直しを行い、性別やジェンダーに基づく差別につながるもの改める」(7.1%)、「誰もが平等に人権が尊重されるために、ジェンダーや性の多様性などについて相互理解を深めるための学習機会を充実すること」(7.1%)の順になっている。

●前回調査（5年前）の香美市男女共同参画社会に関する市民意識調査結果  
(N=606 複数回答あり)



前回調査において、男女共同参画社会を実現するために力を入れていくべきことについて尋ねたところ、男性では「労働時間を短縮するなど、性別にとらわれず家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること」(20.8%)が最も高く、次いで「法律や制度の面で見直しを行い、性別やジェンダーに基づく差別につながるものを改めること」(14.3%)、「性別やジェンダーに基づくさまざまな偏見や固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること」(14.1%)の順で割合が高くなっている。女性では「労働時間を短縮するなど、性別にとらわれず家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること」(20.6%)が最も高く、次いで「性別にとらわれず、誰もが生活者としての家事能力を身につけること」(15.6%)、「性別やジェンダーに基づくさまざまな偏見や固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること」(14.8%)の順で割合が高くなっている。性別無回答では「労働時間を短縮するなど、性別にとらわれず家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること」(22.6%)が最も高く、次いで「性別にとらわれず、誰もが生活者としての家事能力を身につけること」(17.7%)、「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」(14.5%)の順で割合が高くなっている。

